

ミウラ
の
チカラ

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA

三浦工業株式会社

東京本社 東京都港区高輪2丁目15-35 〒108-0074

松山本社 愛媛県松山市堀江町7番地 〒799-2696

<https://www.miuraz.co.jp>



環境に配慮した植物油
インクを使用しています。

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA

「熱・水・環境の分野で、環境に優しい社会、きれいで快適な生活の創造に貢献します」
という企業理念の実現に向け、グローバルに進化し続けます。

平素よりミウラグループにご愛顧ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ミウラグループの歴史の第一歩は、1959年のZボイラの開発に始まります。以来、全社一丸となってお客様に役立つモノづくりに挑戦してまいりました。

おかげさまで、日本の小型貫流ボイラのトップメーカーというだけでなく、水処理機器、食品機器、メディカル機器、船用機器、環境機器など、様々な製品の製造、販売、メンテナンスをグローバルに展開するグループ企業へと成長することができました。

今後は、その総合力を活かし、環境負荷低減、省エネ、人手不足などお客様が抱えておられる工場全体の問題を解決する「トータルソリューション」の進化を徹底的に進めてまいります。お客様の課題を共に見つけ、お客様の価値を創り出す。その責務を社員一人ひとりがしっかりと自覚し果たすことで、環境保全などの社会貢献にもつながるものと確信しております。

そこを支えるのがミウラのDNAともいえる「現場力」です。これからの時代、DXも重要ですが、それを現場に生かす力も欠かせません。お客様に最適なサービスをご提供するには、現場に足を運びお客様としっかりつながっていくことが何より大事と考えています。この「現場力」を継承し磨いていくための人づくりにも注力し、世界中のお客様の期待と信頼に応えてまいります。

ミウラグループは、今後も「熱・水・環境の分野で、環境に優しい社会、きれいで快適な生活の創造に貢献します」という企業理念の実現に向け、世界をフィールドにさらなる挑戦を続けます。

皆様方には、ぜひ松山本社・北条工場（愛媛県松山市）の見学にお越しいただきたいと思っております。きっと、未来に向けて進化し続けるミウラを実感していただけることでしょう。ご来社を心よりお待ちしております。

代表取締役 社長執行役員 CEO

米田 剛

YONEDA Tsuyoshi



ミウラの歴史は、改革と挑戦の連続です。



ミウラ式傾斜型精麦機



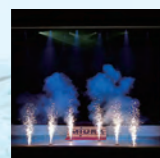
創業者 三浦保



ZP型ボイラ



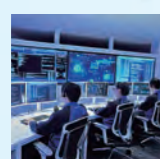
会社設立30周年記念式典



会社設立50周年記念式典



ミウラショールーム



ミウラコネクトセンター

- 1927 ● 創業者の父、三浦政治郎が精麦・精米機の製造・販売のため、愛媛県松山市において三浦製作所を創業
- 1959 ● 創業者・三浦保が株式会社三浦製作所を設立
- 1960 ● Zボイラの本格的な製造を開始
- 1967 ● 船用補助ボイラの製造開始
- 1972 ● 「ZMP点検制度 (ZMP契約)」導入
- 1977 ● MI (多缶設置) システムの販売開始
- 1978 ● 商号を三浦工業株式会社へ変更
医療用滅菌器の製造開始
- 1981 ● 第1回省エネセミナーを開催
- 1986 ● MIシステム「ボイラ自動台数制御方式」の特許が成立
食品加工機器の販売開始
- 1988 ● 自社製の蒸気釜、固定式蒸気加圧釜を発売
- 1989 ● 24時間のZISオンラインメンテナンスを開始
東京証券取引所・大阪証券取引所一部上場
代表取締役社長に白石省三就任
- 1991 ● ノンファーンレスガス焚きボイラ「Zジョインター SQ」発売
三浦環境科学研究所設立
- 1996 ● 家庭用軟水器・ホームソフナー「軟太郎」発売
- 1998 ● ミウラート・ヴィレッジ (三浦美術館) がオープン
- 1999 ● ISO9001 認証取得
- 2001 ● 日本初 ISO/IEC 17025 認定取得
- 2004 ● NOx値が業界初25ppmのガス焚きボイラ SQ-2500ZSを発売
代表取締役社長に高橋祐二就任
- 2007 ● ISO14001 認証取得
- 2009 ● SQ-7000Z発売
- 2012 ● 株式会社丹波工業所を子会社化
- 2015 ● ISO22000 認証取得
小型貫流ボイラ「ZP型」が機械遺産に認定^{*1}
- 2016 ● 代表取締役社長に宮内大介就任
- 2017 ● 水素燃料の貫流蒸気ボイラを発売
業務用4.2kW固体酸化燃料電池 (SOFC) システムを発売
ミウラジョブパートナー株式会社を設立
アイナックス稲本株式会社を子会社化
- 2018 ● アイナックス稲本株式会社が株式会社アイナックス稲本ホールディングスを吸収合併
本社工場内に法人向けショールーム「ミウラ愛ランド」「ミウラ愛サイト」を新設
MLE株式会社を吸収合併
- 2019 ● 株式会社三浦マニファクチャリングが三浦マシン株式会社を吸収合併
クラウド型エネルギー管理システム「MEIS CLOUD (メイスクラウド)」を発売
バラスト水処理装置HK「フィルタ+UV (紫外線) 方式」で国内初USCG型式認証取得
- 2020 ● 北日本ボイラ株式会社を子会社化
過酸化水素+オゾンガスによる新滅菌技術 (ETstera) を開発
水供給サービス「MiraQua (ミラクア)」を開始
- 2022 ● コベルコ・コンプレッサ株式会社の株式49%取得
株式会社ヤブサメ及びその子会社であるハヤブサメンテナンス株式会社を子会社化
- 2023 ● トータスエンジニアリング株式会社を子会社化
コロボット株式会社を子会社化
- 2024 ● 代表取締役社長に米田剛就任
株式会社ミウラエンバシーを設立
株式会社ダイキンアプライドシステムの株式49%を取得
- 2025 ● ミウラ環境エンジニアリング株式会社を子会社化



1983年度/1994年度/2012年度
日本機械学会賞



1992年度/1994年度
2006年度/2011年度
日本ガス協会技術大賞
日本ガス協会技術賞



1998年度
科学技術庁長官賞



2000年度
腐食防食協会技術賞



2004年度
日本産業機械工業会会長賞



2007年度
全国発明表彰



2010年度・2015年度
優秀省エネルギー機器



2010年度
グッドデザイン全賞

2024年8月時点の情報です。

ミウラグループ企業理念

熱・水・環境の分野で、環境に優しい社会、
きれいで快適な生活の創造に貢献します

会社概要

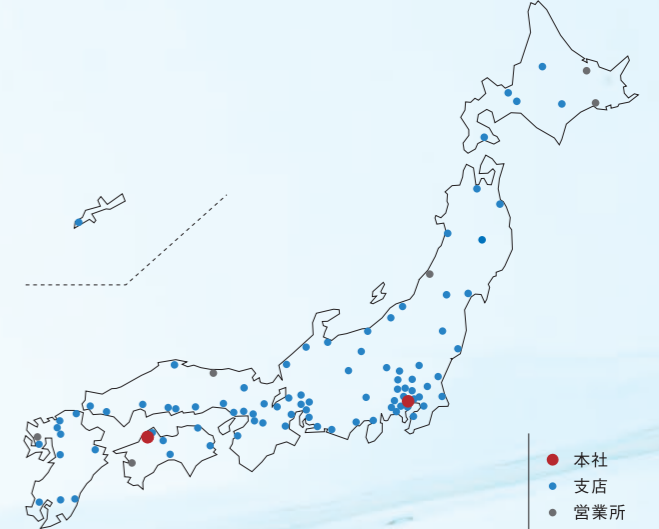
- 社名
三浦工業株式会社
MIURA CO., LTD.
- 事業内容
小型貫流ボイラ・船用補助ボイラ・排ガス (廃熱) ボイラ・水処理機器・食品機器・滅菌器・薬品等の製造販売、メンテナンス、環境計量証明業等
- 本社
東京：東京都港区高輪2丁目15-35 〒108-0074
松山：愛媛県松山市堀江町7番地 〒799-2696
- 設立
1959年 (昭和34年) 5月1日
- 代表者
代表取締役 社長執行役員 CEO 米田 剛
- 資本金
95億4400万円
- 従業員数
単独 3,364名
連結 7,729名
(2025年3月31日現在 / 正社員・準社員のみ)

国内グループ会社

- 三浦工機株式会社
- 三浦アクアテック株式会社
- 株式会社ミウラ・エス・エー
- 株式会社三浦マニファクチャリング
- 三浦環境マネジメント株式会社
- ミウラジョブパートナー株式会社
- 株式会社丹波工業所
- 北日本ボイラ株式会社
- 株式会社ヤブサメ
- ハヤブサメンテナンス株式会社
- トータスエンジニアリング株式会社
- ミラボット株式会社
- 株式会社ミウラエンバシー
- ミウラ環境エンジニアリング株式会社

国内拠点

国内約100の拠点と約1,200名のフィールドエンジニアによる機動力で迅速なメンテナンスを提供しています。



東京本社



松山本社



堀江工場



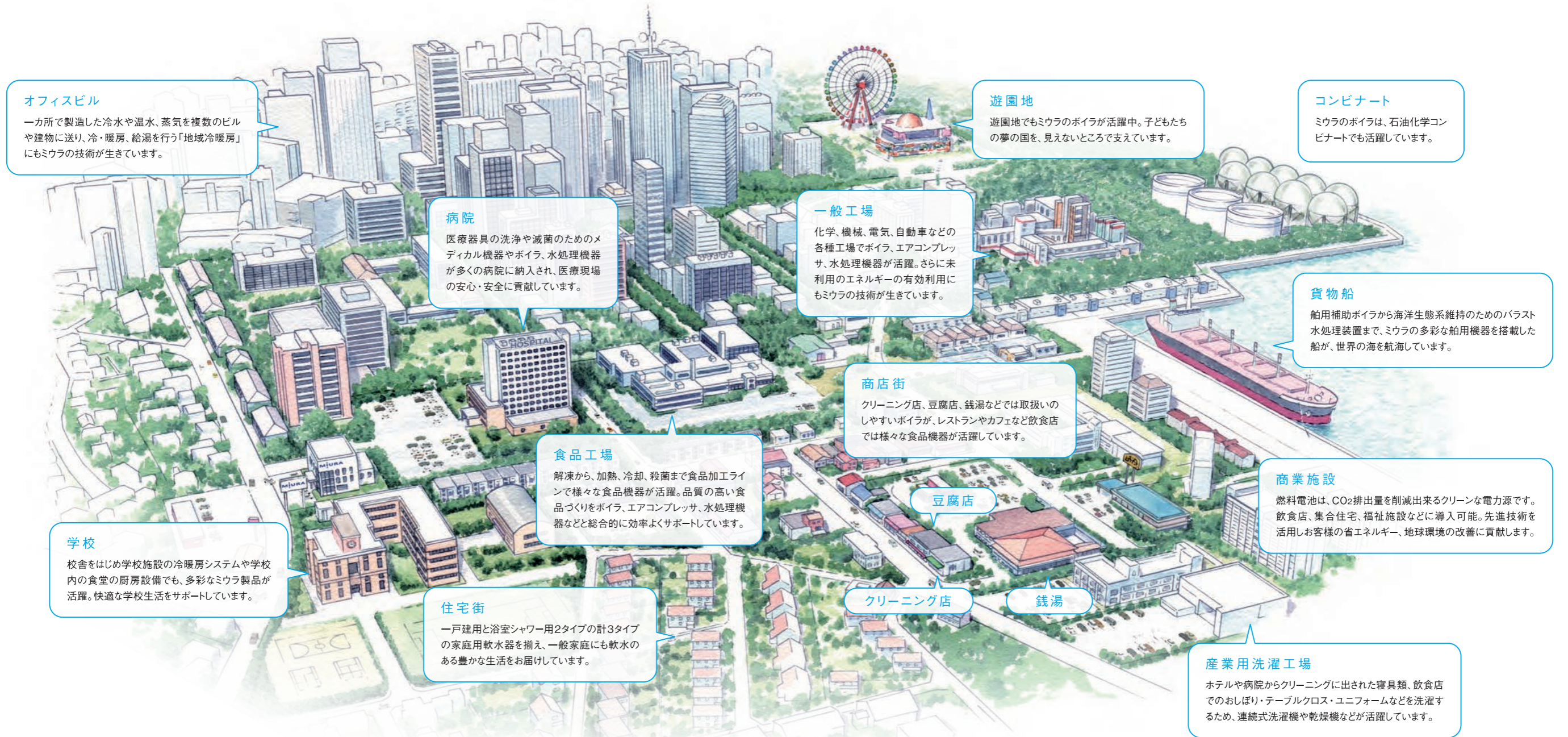
北条工場

マネジメントシステム・製品認証

- ISO 9001
ボイラ、ボイラ付帯装置及びボイラシステムの設計、開発、製造、据付保守点検及びオンラインによるメンテナンスサービス
- ISO 14001
堀江・北条地区の三浦工業および国内連結子会社 (株式会社ミウラ・エス・エー除く) は環境マネジメントシステム登録事業所です。
- ISO 22000
三浦アクアテック (株) は食品安全マネジメントシステム規格ISO22000の登録事業所です。

^{*1} 日本機械学会により認定された歴史的意義のある機械技術関連遺産です。海外事業展開歴史は、P15,16にあります。ZMP、ノンファーンレス、軟太郎、ZP、MEIS CLOUD、ETstera、熱ソムリエ、テクノサービスは、三浦工業株の登録商標です。

毎日をより豊かに安心して暮らしていただくため、環境に配慮した製品をお届けしています。



こんなところに、あんなところに、実はミウラ

ミウラの製品やサービスは、工場やコンビニといった産業現場はもちろん、日々の暮らしに密着した場でもおおいに活躍しています。病院、学校、コンビニ、レストラン、銭湯、遊園地など、様々な場面でミウラ製品をご利用いただいております。ミウラは、「熱・水・環境のベストパートナー」と同時に、皆様の暮らしをより豊かに安全に支えるサポーターでもあります。



ボイラ事業で培ってきた「熱・水・環境」の技術をさらに発展させ、多彩な事業を展開。



設立以来、ミウラはボイラの開発・製造で培ってきたノウハウを発展させ、事業を広げてまいりました。現在は、「熱・水・環境」に加え、電気や空気まで含めた幅広い分野でミウラのチカラが活かされています。事業拡大に伴い、メンテナンスの守備範囲も広がっています。事業分野はちがっても、省エネと環境保全でお客様のお役に立ちたいという思いに、変わりはありません。

ボイラ事業

*小型貫流ボイラの日本シェア No.1

ミウラのボイラは豊富な製品ラインアップでさまざまな場所で利用され、高効率ボイラと多価設置システムにより、エネルギーコストの低減やCO₂排出量の削減など、環境に優しい社会の実現に貢献しています。



船用事業

*船用補助ボイラの搭載数日本 No.1

船舶用の補助ボイラをはじめ熱媒ヒータ、焼却炉、造水装置など船舶に必要な機器の製造・販売を手掛けています。またバラスト水処理装置やマイクロプラスチック回収装置を開発し、環境保全に貢献しています。



食機事業

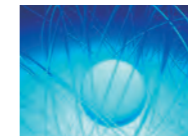
*真空冷却機の日本シェア No.1

より高い品質の食品づくりを安心・安全に、しかも効率よくサポートできる食品加工機器をトータルにご提案。解凍から加熱調理、冷却、殺菌、殺菌後冷却まで、高性能なラインアップが揃います。



熱利用事業

熱エネルギーを活用した減電、電力のアシストで熱の有効利用および未利用排熱の有効活用を行い、工場全体のエネルギーシステムをより効率化のご提案（熱電ソリューション）を進めています。



環境事業

*ダイオキシン類分析前処理装置の日本シェア No.1

三浦環境科学研究所では、日本で初めてダイオキシン類を対象とした化学分析でISO17025を取得。環境汚染物質の分析を行うほか、欧州向けダイオキシン類前処理装置を自社開発・展開しています。



ランドリー事業

*業務用クリーニング機器の日本シェア No.1

業務用クリーニング機器で約60%のシェアを持ち、製造・販売・エンジニアリング・メンテナンスを一貫で行うことで、洗濯工場の最適化に貢献。アイナックス稲本の機械が衛生的で安心な社会を支えています。



メンテナンス事業

トラブルを未然に防ぐピファメンテナンスを徹底。定期的な点検・整備はもちろん、24時間365日見守り続けるオンラインメンテナンスを実施し、操業ロスやランニングコストの軽減に貢献しています。



アクア事業

*業務用軟水装置の日本シェア No.1

軟水装置、水処理薬品などボイラに関わる水処理製品をはじめ、用水処理としてのろ過・純水装置を製造・販売。800万件以上の水分析の実績を基に、省エネや節水に役立つ水処理システムをご提案します。



メディカル事業

「健康と安全」をテーマに、蒸気滅菌装置・洗浄機器など各種医療用機器を製造・販売。洗浄から滅菌までトータルに管理するシステムをご提案し、医療業務の根幹をなす滅菌の品質保証に貢献いたします。



特機事業

*排ガスボイラの日本シェア No.1

排ガスボイラをはじめ、「活エネルギー」を実現する製品を提供。コージェネレーションにおける圧倒的シェアを背景に、バイオマス焼却廃熱利用等で脱炭素社会の実現にも貢献しています。



軟水事業

*家庭用軟水器の日本シェア No.1

ボイラ用、業務用軟水装置の高度な開発技術を生かし、国内初の本格的な家庭用軟水器を開発。一戸建用と浴室シャワー用をご用意し、快適な軟水生活をお届けしています。

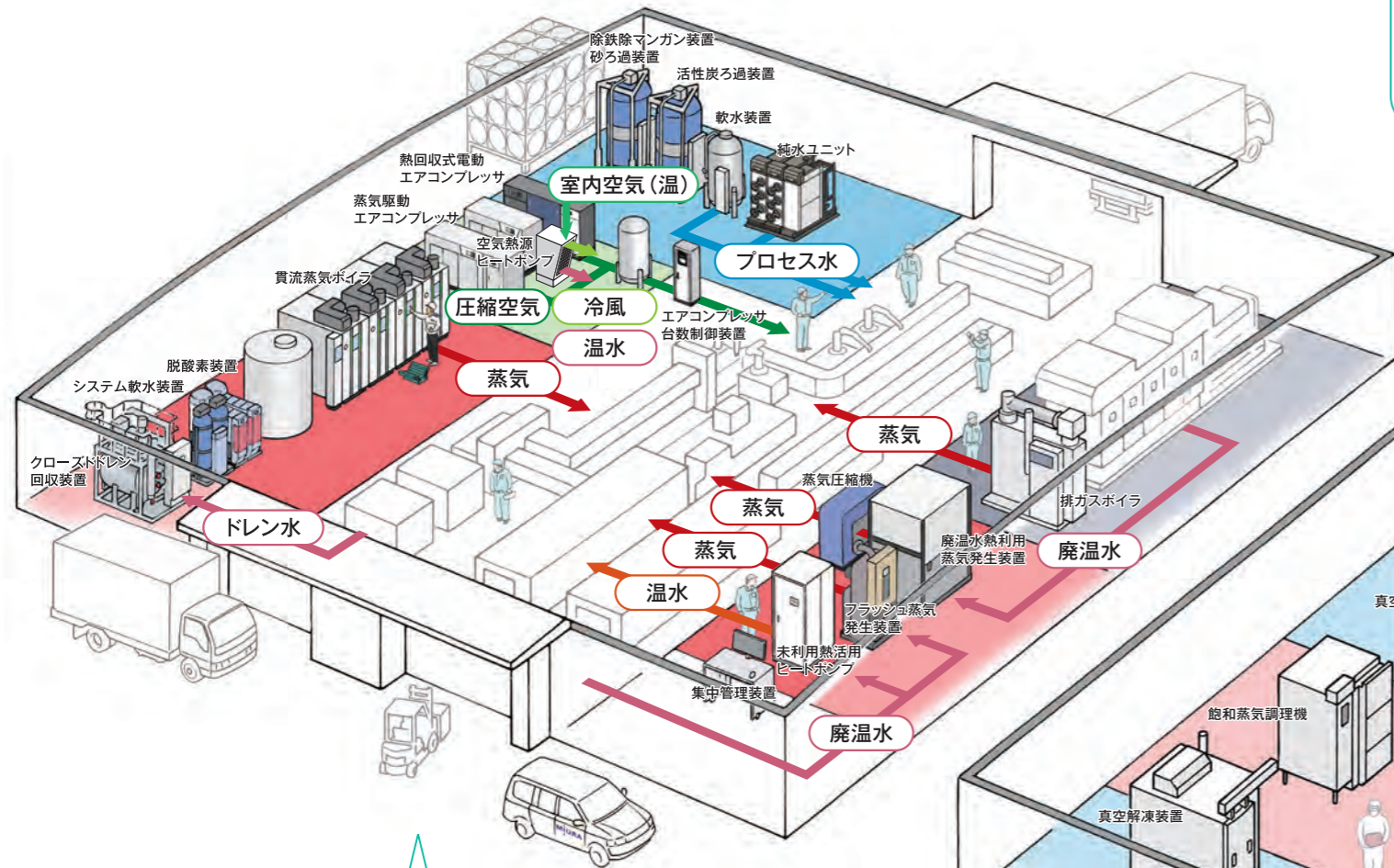


*自社調べ

製品、事業のベストミックスで推進する、「ミウラのトータルソリューション」。

熱・水・環境・電気・空気分野で培ってきたミウラの総合力で、お客様の抱えている問題をお客様と一緒に解決していくのが、「ミウラのトータルソリューション」。

工場、船舶、病院など、それぞれのお客様に適した省エネや環境改善プランを、各事業部が連携を取りながらベストミックスでご提案いたします。



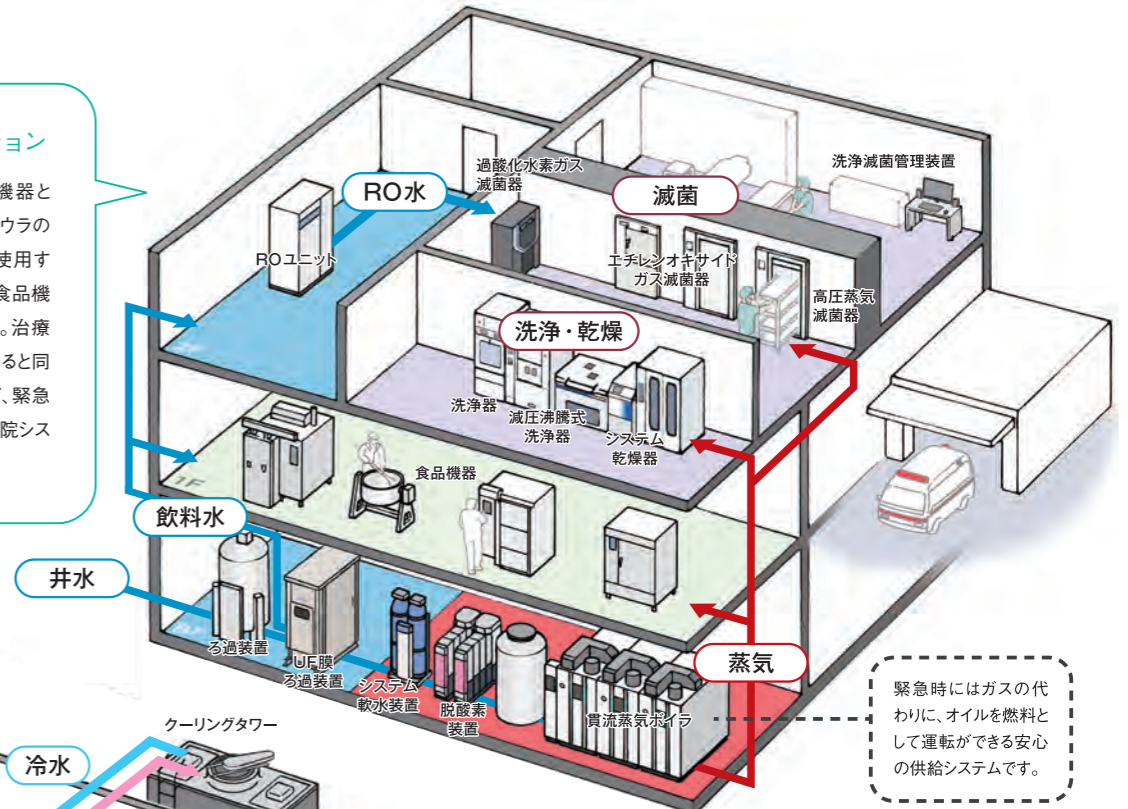
工場トータルソリューション

これまで培ってきた蒸気、水処理、排ガス、廃温水、廃熱、熱媒などに関するノウハウと技術を注力し、ボイラシステムの省エネ、トータルな水処理システム、未利用エネルギーの有効活用、圧縮空気設備の省エネなど、工場を支える各種設備の適正化をサポートします。

例えば、コンプレッサが設置された機械室の暑熱対策は、ヒートポンプの導入で解決できます。ヒートポンプが機械室内の熱を回収し、その熱をボイラ給水の加温に利用することで、ボイラの燃料使用量を削減できます。さらに、機械室の室温が低下することでコンプレッサの電力消費も抑えられ、工場内の快適性向上にもつながります。

病院トータルソリューション

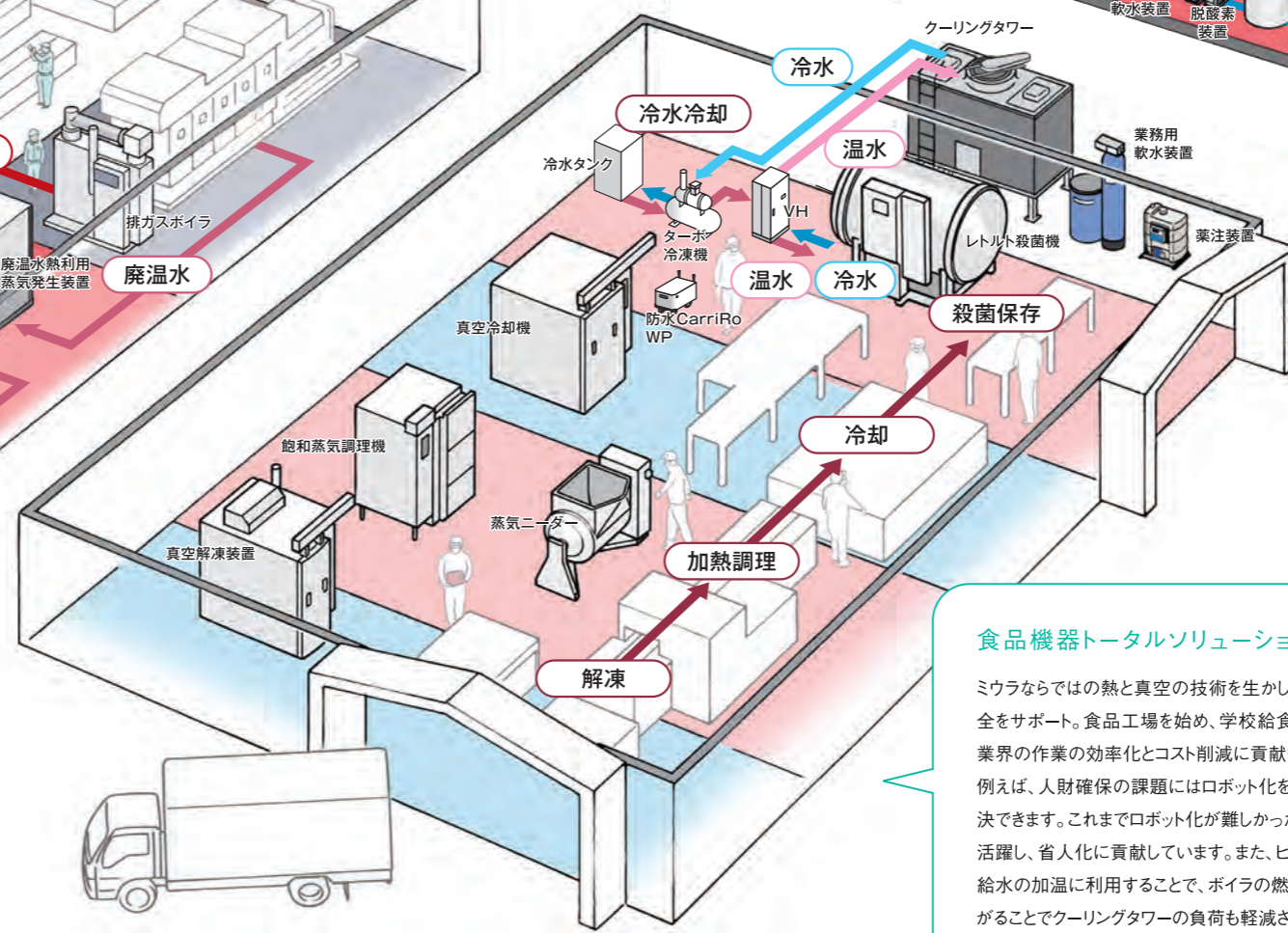
医療器具の洗浄・乾燥・滅菌機器といった医療製品の提案もミウラの得意とするところ。さらに病院で使用する水処理機器、厨房で使用する食品機器まで、ラインアップが可能です。治療環境の充実と治療の効率化を図ると同時に、燃料切替ボイラの導入など、緊急事態への備えも万全な先進の病院システムをコーディネートします。



緊急時にはガスの代わりに、オイルを燃料として運転ができる安心の供給システムです。

シップトータルソリューション

海上を運行する船には、ボイラだけでなく船上焼却炉、船用造水装置、海洋の生態系維持のためのバラスト水処理装置など、様々な船用機器が必要です。貨物船などの商用船から客船まで船種やトン数に合わせて、適した製品をご提案。船上でのエネルギーの有効活用、海洋環境の保全などの課題をトータルな視点で解決していきます。



食品機器トータルソリューション

ミウラならではの熱と真空の技術を生かした食品機器の開発に取り組むことで、食の安心・安全をサポート。食品工場を始め、学校給食、老人ホームや病院の調理など幅広い分野の食品業界の作業の効率化とコスト削減に貢献します。

例えば、人財確保の課題にはロボット化を、設備の効率化にはヒートポンプを活用することで解決できます。これまでロボット化が難しかった水回りの工程では、防水仕様の自動搬送ロボットが活躍し、省人化に貢献しています。また、ヒートポンプで冷凍機の循環水から回収した熱をボイラ給水の加温に利用することで、ボイラの燃料使用量を削減できます。さらに、循環水の温度が下がることでクーリングタワーの負荷も軽減され、設備全体の省エネにつながります。

技術・生産力、営業・販売力、メンテナンス力。
ミウラの総合力で
お客様が抱えている問題解決に取り組みます。



「技術・生産力」「営業・販売力」「メンテナンス力」、ミウラの総合力でお客様が抱えている様々な問題を解決するのが、ミウラ独自のビジネスモデルです。高い技術力で多種多様な製品を開発・製造。営業担当者が、お客様に適した製品とシステムをご提案いたします。納入後は、組織力・機動力に優れたメンテナンス網によって保守管理を徹底。ミウラの総合力にご期待ください。



ミウラの総合力 —— 技術・生産力（開発・製造）

一人ひとりが「つかう立場でものづくり」。

機器本体から電子基板まで
自社開発、自社製造

ボイラなどの機器本体はもちろん、構成部品、マイコンボードまで、自社開発・自社製造にこだわるミウラ。工場では、全ての製品において「20年後、30年後まで安心して使っていただきたい」との思いを込めて、ものづくりに取り組んでいます。



安全性を追求する
ミウラのものづくり品質

ミウラの製品に対する安全性追求に、妥協はありません。安全基礎試験室では、製品の安全確認・解析を行い設計にフィードバック。制御装置環境試験室では、過酷なノイズ環境下および温湿度環境下で動作確認試験を実施。製品環境試験室では、過酷な環境条件を製品に与えながらライフテストを行います。さらに、溶接技術の向上と伝承のための溶接道場を整備し、溶接マイスターを養成。毎年、海外拠点の社員も参加し、溶接コンクールを実施しています。



安全基礎試験室



製品環境試験室



溶接道場

徹底した品質管理のために
ISO国際規格を取得

環境保全への取り組みとして、製品工場では環境マネジメントシステム国際規格 ISO14001 を取得。さらに2014年に完成した水処理薬品工場では、食品安全マネジメントシステムの国際規格 ISO22000 を取得し、食品工場と同等の徹底した品質管理を行っています。



水処理薬品工場
(三浦アクアテック株式会社)



ミウラの総合力 —— 営業・販売力

お客様との信頼関係を大切にしたフェイス to フェイスの営業。

350名の営業担当者が
全国約100拠点で対応

全国約100拠点に約350名の営業担当者を配し、お客様を直接訪問。お客様の声をじっくりお聴きし一緒に問題解決していく「提案型営業」を行っています。北条工場に設けた西日本最大級の自動倉庫と各拠点をオンラインで結び迅速に対応しています。



本体自動倉庫

お客様最優先で
ソリューションをご提案

製品はもちろん、工場全体の省エネやCO₂削減などもコーディネートしています。松山本社工場へご案内し、実際にものづくりの現場やボイラ実証ルームなどを見ていただいた上で、お客様に適したトータルソリューションをご提案いたします。



ボイラ実証ルーム

省エネ診断や水分析も
お任せください

ボイラや水処理機器を対象とした水診断を行う「水分析チーム」と工場やプラントの省エネを診断する「省エネチーム」を編成。お客様のご要望に合わせて診断をしています。また環境科学研究所では、環境汚染物質の分析業務も行っています。



ボイラ実証ルーム



ミウラの総合力 —— メンテナンス力（保守・点検）

安心して長く使っていただくための、業界トップのメンテナンス体制。

約1,200名のエンジニアが
ビフォアメンテナンス

全国約100拠点に約1,200名のフィールドエンジニアを配置し、トラブルが出ないように定期点検を実施。スピード対応をめざし、現場での部品情報やデータの確認ができるタブレット端末を全員が携行するなど、ツールのICT化にも積極的です。



あらゆる機器のメンテナンスを
ワンストップで

ミウラのフィールドエンジニアは、社内機種資格制度、公的資格制度、現場OJT、松山本社での集合研修などでスキルを磨いたブロのエンジニア集団です。機械、電気、水管理まで、幅広い分野のメンテナンスを一人でカバーできる高い技術力を備えています。



ミウラコネクセンターで
24時間365日トラブル対応

松山本社にあるミウラコネクセンターで、メンテナンスをバックアップ。24時間365日体制でお客様の製品を見守っています。松山本社の被災に備え、栃木に第2ZISオンラインセンターを開業。全てのメンテナンスデータを2拠点で管理し、緊急時への対応にも万全です。



ミウラコネクセンター

長期間供給可能
安心の部品調達能力

ボイラをはじめとする製品の構成部品やマイコンボードまで、自社で開発・製造するミウラ。メンテナンス時に必要な部品を常時ストック、長期間供給可能です。部品自動倉庫などスピーディで確実な供給体制を整え、あらゆる修理に対応しています。



部品自動倉庫

日本のミウラから、世界のミウラへ。

19現地法人・17工場 (2025年3月31日現在)



サータス有限会社



ミウラカナダ株式会社



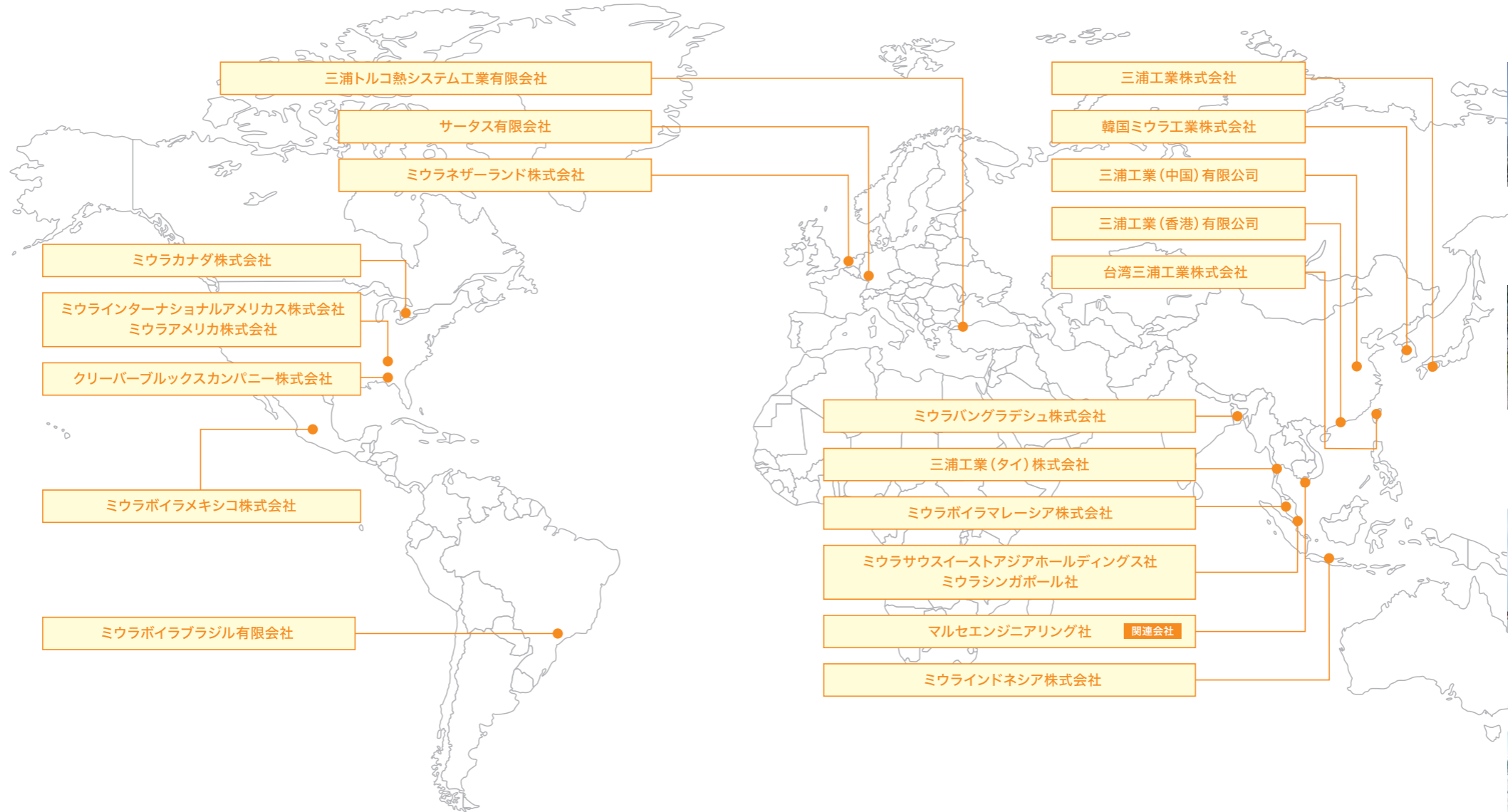
ミウラインターナショナルアメリカス株式会社
ミウラアメリカ株式会社



クリーパーブルックスカンパニー株式会社



ミウラボイラブラジル有限会社



三浦工業株式会社



韓国ミウラ工業株式会社



三浦工業(中国)有限公司



台湾三浦工業株式会社



ミウラインドネシア株式会社

海外事業展開の歴史

- 1959 創業者・三浦保が株式会社三浦製作所を設立。
- 1978 商号を三浦工業株式会社へ変更。
- 1982 韓国ミウラ工業株式会社に出資。
- 1987 MIURA BOILER CO., LTD. (カナダ) を設立。
- 1988 三浦鍋爐股份有限公司 (台北市 現・台湾三浦工業株式会社) を設立。
- 1991 MIURA BOILER CO., LTD. の販売子会社として MIURA BOILER USA INC. (米国) および MIURA BOILER WEST, INC. (米国) を設立。
- 2004 三浦工業設備(蘇州)有限公司 (中国) を設立。

- 2008 MIURA MANUFACTURING AMERICA CO., LTD. (米国) を設立。
- MIURA SOUTH EAST ASIA PTE. LTD. (シンガポール) を設立。
- 2009 MIURA SOUTH EAST ASIA PTE. LTD. の子会社として、PT. MIURA INDONESIA (インドネシア) を設立。
- 2011 MIURA BOILER MEXICO S.A. DE C.V. (メキシコ) を設立。
- 2012 MIURA BOILER DO BRASIL LTDA. (ブラジル) を設立。

- 2014 MIURA INDUSTRIES (THAILAND) CO., LTD. (タイ) を設立。
- MIURA NETHERLANDS B.V. (オランダ) を設立。
- 2015 MIURA INTERNATIONAL AMERICAS INC. (米国) を設立。
- MIURA TURKEY HEATING SYSTEMS INDUSTRY CO., LTD. (トルコ) を設立。
- 2016 MIURA SOUTH EAST ASIA HOLDINGS PTE. LTD. (シンガポール) を設立。

- 2019 MIURA SOUTH EAST ASIA HOLDINGS PTE. LTD. の子会社として MIURA BOILER MALAYSIA SDN. BHD. (マレーシア) を設立。
- 2023 MIURA BANGLADESH CO., LTD. (バングラデシュ) を設立。
- 2024 CERTUSS GmbH (ドイツ) の全株式を取得し、同社を子会社化。
- The Cleaver-Brooks Company, Inc. (米国) の全株式取得に伴い、MIURA INTERNATIONAL AMERICAS INC. が CBE ENTERPRISES, INC. (米国) を子会社化。

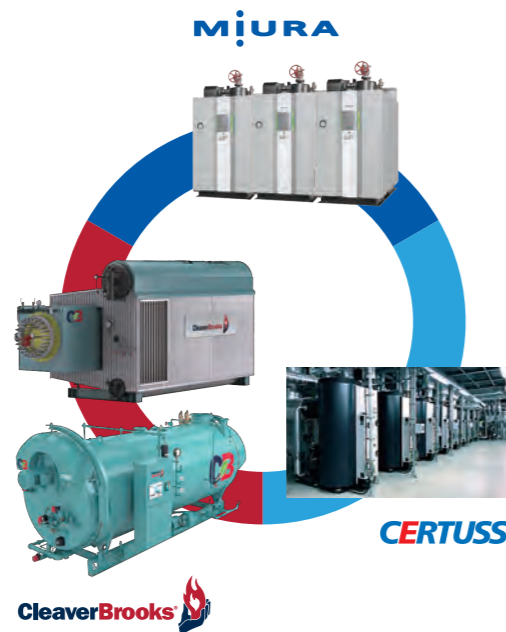
* 記載している海外子会社名は現在の社名です。

世界の市場にマッチしたグローバルな熱のプロバイダーを目指して。



世界のお客様に向けた「熱プロバイダー」への進化

2024年にドイツのCERTUSS社と米国のCleaver-Brooks社をグループに迎え入れ、小型から大型のボイラまで製品ラインアップをさらに拡充しました。これによりミウラは、国や地域を越えてお客様に寄り添い、お客様が欲しい「熱」を、必要なときにご提供する「熱プロバイダー」として、多様な市場特性に応じた最適なソリューションを提供してまいります。



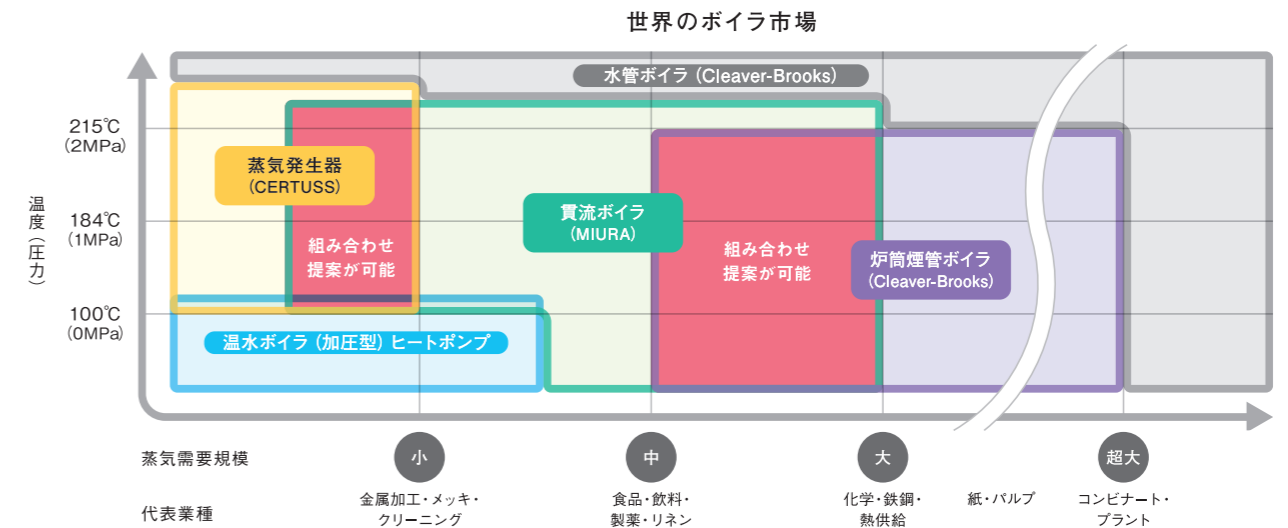
Miura Cleaver Thermal Institute (MCTI)

グループ会社各ブランドが持つ技術を土台に独自性を尊重しあい理解を深めていくための拠点として、MCTIを米国ウィスコンシン州ミルウォーキーに開設しました。日本の技術者をはじめ世界のミウラグループからメンバーが集まり、熱に関するグループ各社の知見を集約し、お客様に最適なソリューションをお届けするための様々な研究や調査を進めております。



ミウラグループ製品でボイラの世界市場を幅広くカバー

小型から大型まで多彩なボイララインアップが整っています。世界のお客様のニーズに最適な機器構成をご提案します。



一人ひとりの成長に惜しめない教育を。



「熱プロバイダー」は、
「熱ソムリエ®」の育成から

工場のデータ解析などを行い、お客様に寄り添いながら、専門的な熱ソリューションを提供するプロフェッショナル人材を、「熱ソムリエ」として認定しています。多数の公的資格を保有するだけでなく、経験とコミュニケーション力を備える熱ソムリエへの成長を目指す「熱マスター」は、現在240名(2025年3月時点)。FEから熱マスターへ、そして熱ソムリエへと学び成長していく過程を、ミウラはしっかり支えています。

ミウラグループの教育の拠点
「三浦研修所」

宿泊施設を完備した「三浦研修所」(三浦リラトレセンター)を保有し、職種や階層に応じた研修を実施しています。リラックスした環境の下、毎年延べ4,000名以上がスキルを磨いています。



日本で培った人材教育を
世界のミウラで

ミウラ製品を提供している世界各地で、日本と同等レベルの「テクノサービス」が提供できるよう、海外現地法人の従業員教育にも力を入れています。世界共通の教育体系で、真のグローバル企業を目指します。



グローバル人材育成のための
Miura Global Talent School

海外事業拡大に対応し、グローバルに活躍する人材の育成に取り組んでいます。2年間の独自プログラムを開講し、異文化理解やコミュニケーション力、リーダーシップスキルの向上をサポート。海外トレーニー制度では、海外グループ会社での実践経験を積むこともできます。



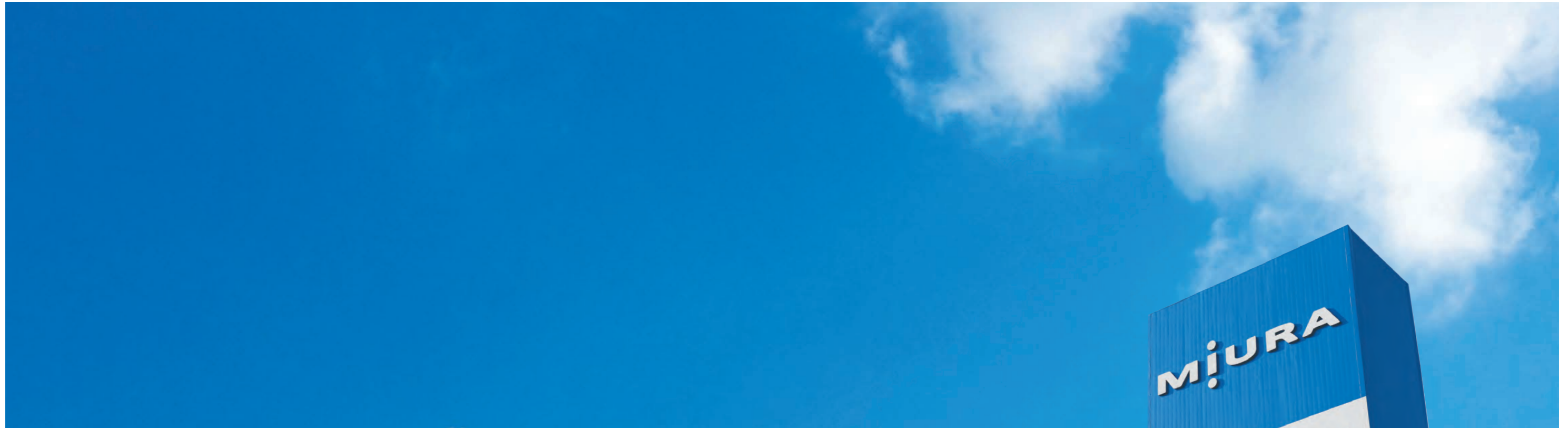
違いを知り、自分を鍛える。海外トレーニーという経験。

ミウラインドネシア支援係 **人見 誠也**

海外トレーニーは、「想像と現実のギャップ」を身をもって体感し、学ぶことができる貴重な機会です。同じ業務であっても、日本と海外では直面する課題や環境が大きく異なり、日本では想定し得ない問題が必ず発生します。そうした状況の中で、他人任せにするのではなく、自ら考え、判断し、解決していく姿勢が求められます。この経験は、日本国内の業務では得難い大きな成長とやりがいにつながります。一方で、言語や文化、食事や生活環境、人間関係などの違いが心身に影響を与え、不安や戸惑いを感じる場面も少なくありません。その中で「自分は海外で通用するのか」と自問し、自身の価値観や覚悟を見つめ直すこととなります。また、現地スタッフとの協働を通じて、行動力や対話を重ねる姿勢の重要性を学び、文化的違いへの理解や柔軟な対応力も養われました。海外赴任前に現地のリアルな業務と環境を経験できるこの制度は、業務面・精神面の双方において大きな自信となり、将来のキャリアを支える確かな財産となっています。



基本は人間力。ミライを拓くミウラのチカラ。



高い技術に、愛され信頼されるサービスを。
ミウラの人づくりを支える「テクノサービス®」

「テクノサービス」とは、ミウラの人づくりの基本となる考え方。サービスあっての技術という意味を込めた、ミウラ独自の造語です。メーカーとして高い技術を提供するのは当然のことで、そこにお客様に愛され信頼されるサービスがあって、はじめて本当にお客様のお役に立つことができるのです。ミウラの人財教育の目的は、その「テクノサービス」力を磨くことにあります。年間300回以上の集合研修はもちろん、日々の業務遂行を通じて研鑽に励んでいます。

テクノサービス

テクノとは、
顧客に役立つ技術のことです。

サービスとは、
自分という人間が顧客に愛され
信頼されることです。

テクノサービスとは、
この二つを掛合せたものです。

地域社会に貢献する
それもミウラの使命です

芸術や文化、環境保全、学校行事の支援、ボランティア活動などを通して、地域に役立つ社会貢献に取り組んでいます。地域に根付いた美術館を目指す三浦美術館（ミウラート・ヴィレージ）も、そのひとつです。



ミウラート・ヴィレージ

「ミウラの森」の森林づくり活動
～生物多様性の保全～

愛媛県・松山市・公益財団法人愛媛の森林基金が進める「企業による森林づくり活動」に参画し、2020年に高縄山周辺の市有林4.3haを「ミウラの森」として協定を締結。従業員と家族が毎年森林整備を行い、森林・生物多様性保全への貢献を目的に活動しています。



ミウラグループエコチャレンジ

ミウラグループは、事業活動および製品ライフサイクルにおけるGHG排出量の削減および排出物のリサイクル率向上、水使用量の削減についての定量化目標を設定し、取り組みを進めています。

項目	基準年	2030年度	2050年度
GHG排出量 Scope1,2(温対法基準) ^{※1}	2013年度比	50%削減	100%削減(実質ゼロ)
GHG排出量 Scope3	2019年度比	売上原単位 40%削減	売上原単位 100%削減
排出物のリサイクル率 ^{※2}	2021年度 71%	85%	95%
水使用量の削減率 ^{※2}	2019年度比	売上原単位 35%削減	売上原単位 65%削減

※1 算定範囲：三浦工業及び三浦マニファクチャリング、三浦アクアテック、三浦工機、三浦環境マネジメント、ミウラ・エス・エー、ミウラジョブパートナー

※2 算定範囲：※1同様、ただし三浦工業支店を除く

